

還る家とともに

かえるいえ

生と老いと病と死と、
喜びも悲しみも、ともに歩みたい……
誰もがいつでも
心の深呼吸ができる場所

新年会&がまの油口上!

〒244-0002 横浜市戸塚区矢部町125

電話 045-881-0348 FAX 045-392-6043

E-mail: mail@zenryouji.jp http://www.zenryouji.jp

発行責任 善了寺 還る家ともに



←1月8日に本堂で行われた新年会に、デイサービスも参加させて頂きました。歌と三味線、太鼓を間近で聴くことができ、民謡を口ずさみながらおいしいお弁当に舌鼓。80歳以上の方には花束と拍手のプレゼントもありました。この日はかりはちよっぴりお酒を楽しんだ方もいて、陽気に(じゃっかん千鳥足で)帰っていかれました。お花はご家族も喜んで下さいました!

→「サアサアお立会い! 御用とお急ぎでない方はゆっくりと聞いておいで…」と威勢よく始まる「がまの油口上」。スタッフ溝口さんが人知れず(?)通勤電車の中でコツコツと(??)覚えた長〜い口上をお正月明けについにお披露目です。がまの油を塗った刀の切れ味を試す場面では、「やられた〜!」と斬られた



マネをして倒れ込んだばあちゃんが、場をいっそう盛り上げてくれました。今日のはあの人笑ってくれるかな、明日はあの人合の手を入れてくれるかな…と、結局ほぼすべての曜日で披露することとなりましたが、おかげさまで大成功でした。

★FROM台湾★



お寺という場所柄か、見学にくるお客様は普段から多く、新しい方を歓迎することには皆慣れているのですが、今回はなんだかグローバル!台湾から12名のお客様がいらっしゃいました。通訳のお2人以外は日本語がさっぱり、こちらとしては中国語がさっぱり。それでもお互い理解しようとする心があれば通じ合えるものです。これから急速な高齢化を迎える台湾は、すでに高齢化社会となって久しい日本の福祉に学ぼうと思い、「地域の居場所」としてのデイサービスの実践を見に来たそうです。塚越さんが「ふるさと」をハーモニカで吹いたとき、言葉では伝えきれなかった心の温かさをお互いに共有できた気がしました。最後はこんなに仲良くなれちゃうんだから、どこの国からのお客様でもWELCOME♪

スタッフのつぎやき

去年、秋冬にかけてたくさんのお別れがありました。長年ご利用頂いた92歳のよしこばあちゃんも、(私はできれば最期まで一緒に居たい気持ちでいたけど) ご自宅での療養に切り替え、デイは利用終了となりました。それ以外にも、入院、入所、死去にともなうお別れが続きました。朝、通勤中になんとなく気分があがらない日も、「あ、今日はあの人に会える」と思うだけで一步踏み出すエネルギーがわいてくるような、女性としても人生においても尊敬していた大先輩ともお別れのときがきてしまいました。そんなこんなで少々心がくじけていたら、同じく福祉に携わる友人に、「相手に思い入れすぎるとお別れのときにバランス崩れちゃうから、適度な距離感も必要だよ」と言われました。そうか…適度な距離。一線ひくということ？私の今までの関わりはどうだっただろう？と振り返ってみました。初めて善了寺に来たのは2006年の秋。そのころ善了寺のお向かいのマンションに住んでいてお寺に来ていたおばあちゃんの、「あなたに会えるかなと思って、今日も来たの」と言ってくれたその言葉に支えられ、ボランティアとして1年通い、その後スタッフになりました。6年以上の月日の中で、出会いと別れがたくさんありました。一人一人に深い思い入れがあり、涙も後悔も数えきれないほどあります。でもそれは後悔のままで終わるばかりではなく、別の人との出会いで違った形で生かされたり、勇気を持って一步踏み込むエネルギーに変わることもありました。あのとき流した涙が、別の人々の笑顔を生む事もあると学びました。

デイサービスのフロアにはお仏壇があり、過去帳の今日の日付を開くたびに思い入れある皆さんの名前が並んでいます。その出会いと思い出は今でも生きていて、気に入って通って下さった方々は、亡くなった後も一緒にこの場で見守り笑っているような気がします。

「別れは喪失ではない、出会いも別れも両方たずさえて、思い入れも大事にしながら今年も行こう。」と思った2013年の年明けでした。

吉田 彩



←今年もお味噌作りが無事終了しました！実は発注のときのミスで、こうじが当初の倍の量になってしまい、それに合わせて大豆も倍にし、味噌だるも買い足し…計5日間の作業となりました。毎年豆挽きを貸してくださっている吉岡さん、最終日にバーミックスを貸してくださった大金さん、たくさん助けてくださった檀家さん、ボランティアさん、職業体験できた中学生のみなさん、利用者の方々、本当にどうもありがとうございました！！

編集後記

デイサービスを開所して、すぐの頃に利用されていた大橋芳春さんがご往生されました。事情があって老人ホームに入所されることになり、お辞めになって、7年は経っていると思います。まさに、突然のお電話で、お葬儀の依頼。住職と共に、お通夜にお参りさせていただきました。7年もお会いしていなかったのに、大橋さんの遺影は当時の口調で私に優しく呼びかけてくれました。「っよ！お久しぶり！元気だったかい？僕はまだまだ達者でやっていたよ！お寺のみんなはどうしているかい？そうかい、そんなににぎやかなデイサービスになったのかい？ご苦労だったねえ！あの頃は、世話になったねえ。風呂に入れてもらったり、そういえば、水族館も行ったねえ。また、この度は、世話になる事になってよろしくたのむね。また会えて実に嬉しいよ。お寺のデイサービスの醍醐味だね。これからは、仏になって、また善了寺のデイにお邪魔するよ。不思議なご縁だな。なんだい、白髪がちらっと、見えるじゃないか？そんなに泣いていないで、達者で暮らせよ。色々ありがとな」

坊

ボランティアさん

「還る家ともに」では、日々ボランティアの皆様を支えています。日々課の決まっていない自由な空間の中で、ひとりひとりの時間に寄り添って過ごして下さっています。

現在、調理ボランティアをしてくれる方を募集しています。興味のある方、是非ご連絡下さい。

中嶋芳江 秦野かねよ 安藤信子 竹中秀子
大森英理亜 山下トキエ 寺山範子 西岡美都里
寺島美代 渡井敏子 朝倉好子 別府与志子
濱崎芳子 市野和歌子 弓削福子 矢口和子
秦野雅子 飯島慶子 米村正男 小寺久枝
江田峯子 中島雄子 長井万佐江 村井ヒテ子
江尻伸子 鳥巢スエ子 牛島寛子 橋本淑子
長澤チヨ子 福寿貴美恵 犬塚照夫 松村節子
秦野宣子 大金スエ子 梅本忠男 小林ミエ
林ヨシ子 山田ヒロ子 増村隆 穴山よしお
高橋莉緒 乾 隆子 佐竹智美 小林千夏代
遠藤俊男 磯地正人

敬称略